

患者さんに「ありがとう」や「信頼している」と言われると、すごくやりがいを感じます。また、入院され良くなって帰られる時が一番うれしいです。

広島市医師会運営・安芸市民病院

看護師 **西田安里** さん

医療専門課程51回生



看護師になりたいと思ったきっかけ

幼稚園の頃、風邪をひいて病院を受診した時、看護師さんがとても優しかったので、「自分もこんな人になりたいな」と思ったのがきっかけです。

本校へ進学した理由

一度、社会人を経験してからの進学であり、学費等のため働きながら勉強することが希望だったので選びました。



「めざす看護師像は、まず、幅広い知識を身につけ、あらゆることに対応できる看護師になりたいと思っています。」と笑顔で話される西田さん。

別の職業から看護師に転身された感想

小さい頃からの夢が叶えられたということが一番うれしかったです。また、以前の仕事と大きく違うところは、「人と密に関わる点」です。人のために何かできるということは、すごくやりがいのあることだと、今、実感しています。

本校で学べて良かったと思うこと

同じように社会人経験をしてから入学する人が多くおられたことです。違う年代の人と一緒に学ぶので、いろいろな考え方に触れます。カンファレンスひとつをとっても、年齢が違えば経験も違い、とても勉強になりました。

在学中の一番の思い出

やはり臨地実習です。たいへんなことも多く、夜も眠れないくらい勉強したこともありました。そんな時、同じグループの子と夜ずっと携帯電話で「ここはどう思う？」と相談しながら勉強したことが思い出に残っています。

現在の仕事内容

一般病棟で入院患者さんの対応や手術をされる患者さんの術前、術後の看護を行っています。消化器や呼吸器疾患、糖尿病の方もおられ、幅広く患者さんと関わることが多いです。

看護を行ううえで、心がけていること

入職してから一番大切にしていることは、「患者さんに対して誠実であること」です。看護中、分からないことがあった時は正直に「分かりません」とか、「あとで調べてきます」と言い、あやふやにしないことを大切にしています。



『看護でうれしかったことは？』の質問に「患者さんに、あなたがいてくれて良かったと頼りにされると嬉しいです。」と答えてくれた西田さん。

今、がんばっておられること

院内のICT（感染制御チーム）に入っていて、感染予防対策を行っています。新型コロナウイルスも流行しており、「一処置一手洗い」をめざして、消毒用アルコールの使用を増やす取り組みを展開しています。

気持ちのリフレッシュ方法

今はコロナ禍のためできないのですが、温泉に行くのが好きなので、よく行っていました。また、違う病院で勤務する友達と会うこともできない状況なので、情報交換や気分転換のためによく電話で話をしています。自粛生活の今は結構まめに自炊をするようになりました。

看護師をめざす後輩へメッセージ

勉強はとてもたいへんで、私も毎日必死に勉強していました。でも、「なりたい」という思いがあれば何歳でもなれると思いますし、辛くても、実践の場に出るとそれが活かせることがたくさんあります。がんばってください。

広島市医師会運営・安芸市民病院の紹介

平成13年に広島市医師会と広島市が設立した公設民営の病院で、当校の実習病院として、多くの学生を受け入れていただいています。

広島市医師会運営・安芸市民病院看護部は、新人看護教育等の教育体制や専門・認定看護師資格取得へのキャリアアップの支援体制が整っており、実習指導者をはじめ、スタッフの方々に指導してもらいながら、質の高い学ぶ環境を提供していただいています。実習生からも好評の施設で、当校の卒業生も多数入職し、がんばっています。



広島市安芸区畑賀二丁目14番1号
TEL (082) 827-0121 (代表)

- 診療科目
 - 内科 リハビリテーション科
 - 外科 小児科
 - 緩和ケア科 人工透析
- 病床数 140床
- 職員数 197名
(内看護師123名)

広島市医師会運営・安芸市民病院看護部のホームページはこちら

<http://www.hosp.city.hiroshima.med.or.jp/kangobu/index.html>